令和5年度の温室効果ガス排出量の実績報告について

1 計画の位置づけ

本市では、地球温暖化対策推進法第21条に基づき、平成23年3月に「都城市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定し、平成28年度の地球温暖化対策推進法の改正を踏まえて、平成30年3月に「第二次都城市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」として改定しました。

また、令和5年4月には、「第二次都城市地球温暖化対策実行計画」の計画期間満了を受け、地球温暖化対策計画の内容や脱炭素に関する取組を新たに取り入れた「第三次都城市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」（以下「本計画」という。）を策定しました。

2 計画期間 令和5年度から令和14年度までの10年間

3 計画範囲 市が実施する事務事業の全ての範囲

4 算定対象

本市の事務事業において排出される二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）が対象

5 削減目標

■長期目標（令和14年度）

- ・エネルギー起源の二酸化炭素排出量を平成25年度比69%削減

■計画期間中の単年度目標（令和5年度）

- ・エネルギー起源の二酸化炭素排出量を毎年度、前年度比3.4%以上削減

6 結果概要

市の事務事業における令和5年度のエネルギー起源の二酸化炭素排出量の確定値は、二酸化炭素換算で20,671t-CO₂と算定され、令和4年度と比較して、4.8%の減少となり、計画期間中の単年度目標である前年度比3.4%は達成しました。

また、基準年度である平成25年度と比較すると、47.8%の削減となりました。

【エネルギー起源の二酸化炭素排出量比較】

エネルギー起源 CO ₂	H25 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 14 年度
排出係数(kg-CO ₂ /kWh)	0.613	0.407	0.402	-
排出量(t-CO ₂)	39,592	21,709	20,671	12,274
前年度比増減(%)	-	22.9	▲4.8	-
基準年度比増減(%)	-	▲45.2	▲47.8	▲69

※R4年度排出係数はR5.12.22、R5年度排出係数はR7.3.18 環境省公表